

# お米の生産・流通・価格等に関する情報

消費者の皆さまに安全・安心な国産米をお届けするために

## ＜第3回＞

### 集荷と価格の動向について

＜第1回＞米作りのながれについて（平成25年3月22日掲載済）

＜第2回＞作付・生産状況について（平成25年5月30日掲載済）

＜第4回＞収穫から精米になるまで

＜第5回＞消費構造について

＜第6回＞表示と消費形態について

以降、情勢等に応じたトピックスをお知らせします。

平成25年6月

J A 全農 米穀事業部

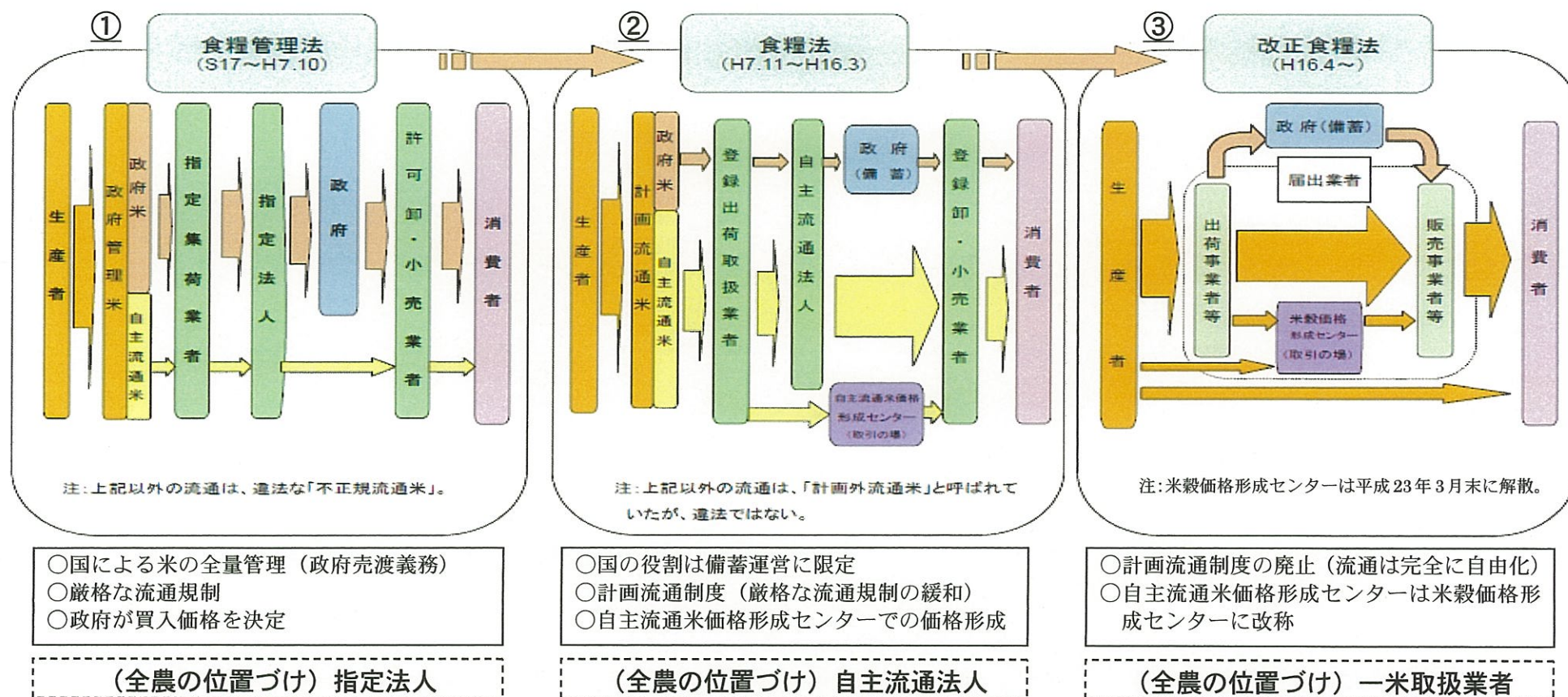
## はじめに

- 第2回では「作付・生産状況」として、実際に日本国内においてお米がどの程度の面積で、どの程度の量がつくられているのか、お米の生産規模や生産費用などの状況も含め、全体的な生産状況について説明させていただきました。
- 第3回では、日本国内で生産されたお米はどのように流通しているのか、また、流通の段階でどのようにしてお米の価格が決まっていくのか、お米の流通制度の変遷や価格の推移などを交えながら、集荷と価格の状況について説明させていただきます。

# 1. お米の流通

- (1) 平成16年4月の改正食糧法施行以降、米の流通制度は全面的に自由化され、消費者は生産者、販売業者から様々なルートで米を購入することが可能となっています。
- (2) また、平成16年4月以降、全農は制度上では、一つの米取扱業者の位置づけとなっています。
- (3) なお、お米は年1作でも食べるのは毎日であり、その保管と安定した流通が重要となります。

## ○お米の流通制度の変遷（農林水産省）

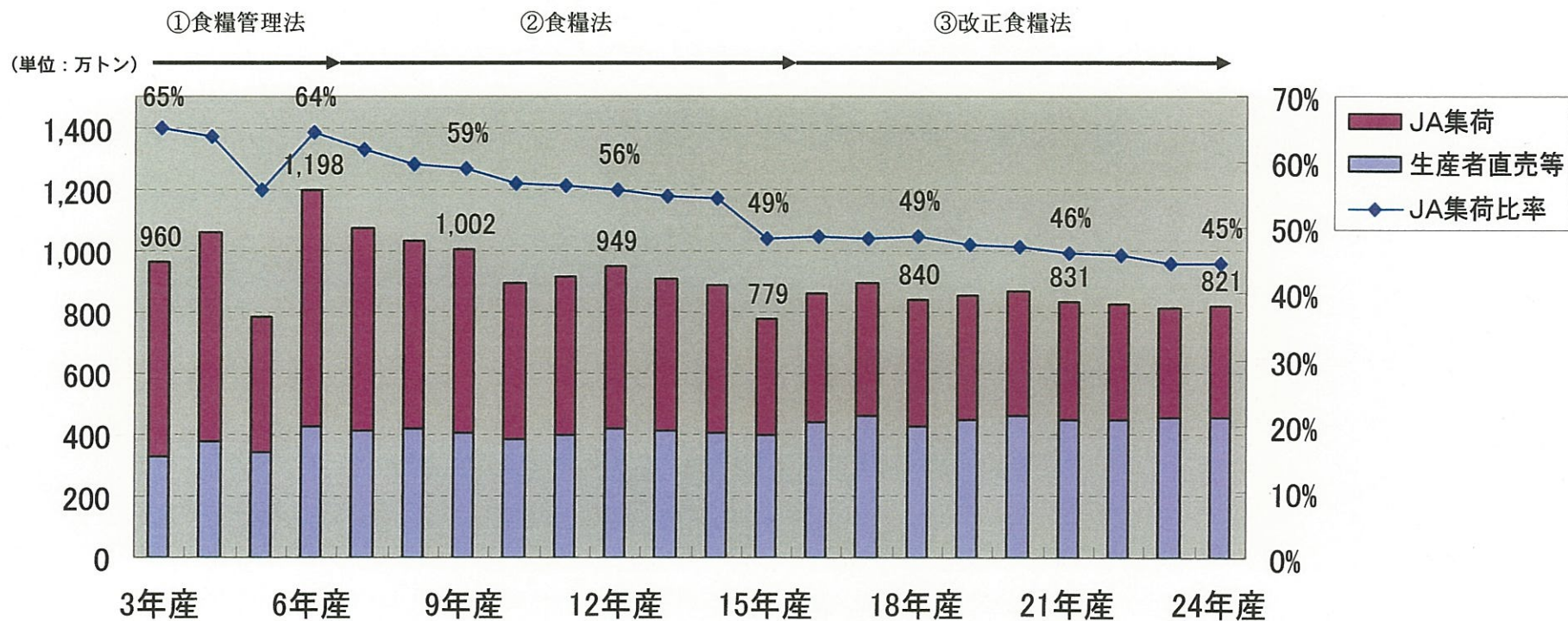




## 2. お米の集荷

- (1) 昭和17年施行の食糧管理法下では、お米の取り扱いができるのは国の指定等を受けた一部の者に限られており、指定法人であるJAの集荷率は64%となっていました。
- (2) 平成7年施行の食糧法下では流通規制が緩和され、平成16年施行の改正食糧法下では流通が完全自由化される一方、米消費の減少や生産調整の取組みなどにより生産量は減少するとともに、JAの集荷も漸減し、平成24年におけるJAの集荷率は45%（見込み）となっています。

### ○集荷数量の推移（全農推定）

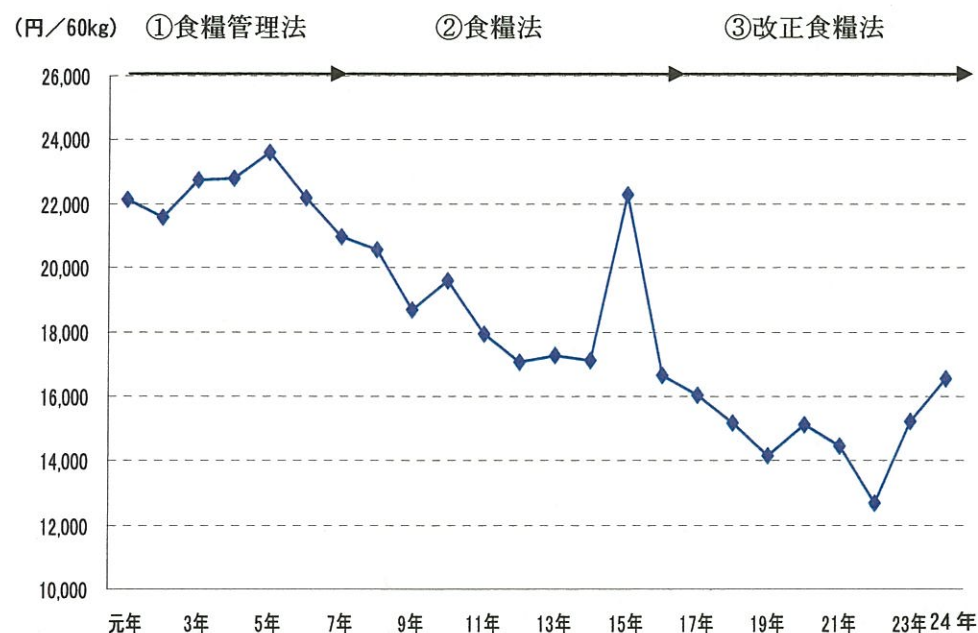




### 3. お米の価格推移

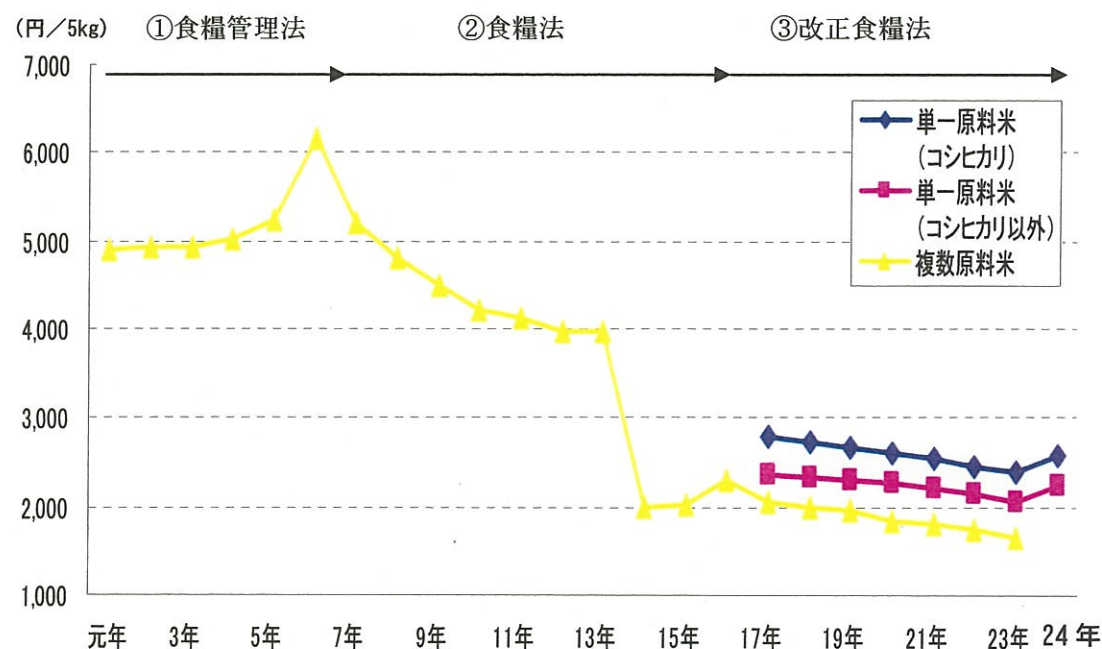
- (1) 玄米価格は作柄の悪かった平成5年と平成15年を除き継続的に低下しています。
- (2) 精米価格は平成6年以降低下傾向にあり、平成14年に大幅に低下した後も継続的に低下しています。
- (3) なお、食糧管理法下では国による全量管理のもと政府がお米の買入価格を決定していましたが、食糧法下では自主流通米価格形成センターでの民間主導の価格形成がなされ、改正食糧法下では流通の完全自由化による取引当事者の相対取引が進んでいます。

○玄米60kgあたりの価格推移



注：2年～17年産は米価格形成センター資料、18～24年産は農林水産省「米の相対取引価格」、元年産は全農推定（包装代・消費税込）

○精米5kgあたりの価格推移



資料：総務省「小売物価統計調査」による。

注1：東京都区部の数値である。

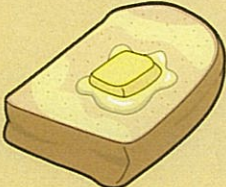
注2：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。



## 4. 精米の価格

- (1) 集荷された玄米は米卸へ販売されますが、その際には玄米60kgあたりで価格設定をおこない、卸等にて精米されたお米は実需者・消費者へ販売されますが、その際には、精米5kg・10kgなど、袋詰めされた単位で価格設定をおこないます。
- (2) なお、お米の精米小売価格を2,100円/5kg<sup>(注1)</sup>としてごはん1杯150gのお米代を試算すると、ごはん1杯は約27円<sup>(注1)</sup>となり、食パンやカップラーメンと比較すると、1食当たりの価格は安くなっています。

### ○1食あたりの価格（JA全中試算）

|          | <div>ごはん</div> <div>(茶碗1杯=ごはん150gで算定)</div>  | <div>食パン</div> <div>(一食約120gで算定)</div>  | <div>カップラーメン</div> <div>(一食1個)</div>  |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1食当たりの価格 | 約27円                                                                                                                           | 約50円<br>(1kg当たり411円で試算)<br>(1袋約150円)                                                                                        | 約138円                                                                                                                     |

注1：ごはん1杯あたりの価格（算出方法）

$$2,100\text{円/精米}5\text{kg} \div 5,000\text{g} \times 65\text{g (ごはん1杯分の精米数量)} \approx 27\text{円}$$



## 5. 用途別の価格

- (1) 現在、日本国内におけるお米の需要については、炊飯して食べるお米、清酒・加工米飯等の原料になるお米、米菓や味噌等の原料になるお米など、広範かつ多様な需要があります。
- (2) 同じお米でも、加工原料となるお米は炊飯して食べるお米以上に安い価格が求められており、本会は、これらの需要に対して、国の制度も活用しながら国産米での供給をはかっています。
- (3) しかし、低価格志向が強まる中で、国産米では価格的に対応できない状況も発生しています。

### ○用途別価格

